どに転落防護柵（ホームドア）が順次設置されているが、全体から見ると普及に時間がかかり過ぎだ。東京メトロでは、丸ノ内線、南北線の全駅設置以外、その他の路線では残念ながら、まだ設置されてない駅のほうが多

車前に判明可能となり、利用者にとって有益で利便性も安全性も楽しさまでも向上する。鉄道事業者にとっては、安全性が向上し広告媒体として収益を拡大していける。

では広告主にとってはどうか？　媒体を設置し

が目立つ。これらはほんの数が離れた場所にあり、乗客数などは同じ条件なのだが、その差は顕著だ。駅構内外では構内の線路敷道の立て看板・線路際面の空きが、首都圏の主要駅においても目立ってきているようだ。

地域を守る／

「まもなくホワイトバードヘリポートに近づかないで下機体が姿を現すと、救急隊員運び込む。作業は数秒で終わすぐ飛び立った。福岡・大分するTDK三隈川工場（大分医療搬送用ヘリコプター「ホ離着陸を受け入れる数少ない

このヘリポートは、三隈川客の送迎用に建設された。大産が最盛期を迎えていたころ崎市と大分市を結ぶ九州横断したのを機に役割を終えてい用ヘリコプターを運航する産」に着目。面倒な手続きが不向きな市内の公設ヘリポ設として白羽の矢を立てた。

自分に当てはめて予防を

◇5◇

っているからということであろう。

一方、うつ病はどうだろうか。「かかったら大変らしい」という認識こそあるものの、基本的には「自分は関係ない」、「人ごと」といった自分に当てはめて考えることすらしないため、結果として「予防する」などとは考えない。すなわち、インフルエンザのように予防措置を講じるフローすら完成していない状態のように感じるのである。

そこで企業においては、従業員の一人ひとりに「自分もうつ病にかかるかも知れない」という意識を植え付けることができれば、自己管理意識は自然と向上し、どうすれば予防できるかという考えに進むことになる。

従って、予防を考えると従業員のメンタルヘルスケアで重要なことは、

①ストレス（悪癖）の発散場所を設置する
②労働時間の管理を適切に実施する
③ストレス（悪癖）の発散場所を設置する
④自己管理意識の醸成を図る

表の4点となる。

悪癖を言える場と述べたが、悪癖は言う方はストレスが発散するが、聞く方はストレスがたまってしまう。特に最近の職場ではギリギリの人数で仕事をしている企業がほとんどであり、他人の悪癖を聞く時間的余裕すらない。

悪癖を言われると、聞いてあげたいと思っても、つい「そんなこと言っても仕方ないだろ」と言ってしまう。これでは、カタルシス効果どころか、吐き出したい気持ちが抑えられ、かえってストレスがたまってしまう。

コミュニケーションを良くしようと簡単に言うが、実際はなかなか難しい。部下とのコミュニケーションを良くしなければならないと一生懸命努力して、自分がうつ病になってしまったという例も決して少なくない。

もはや「悪癖のはけ口を作ること」自体がひとつの重要な業務であると認識しなければならず、もし社内にその余力がない現状をとらえるなら、専門事業者へのアウトソーシング（外部委託）を検討する必要があるのではないかと思うべき。

安全・安心プロダクツ

救急箱

エルプエンテ インターナショナル

救急箱の提供 シール添付で意思表示

大規模震災などに備えて避難セットを常備している家庭は多いだろう。しかし、もし外出時に災害や事件・事故に巻き込まれたら―。救急車が到着するまでの間に、応急処置ができれば安心だ。この安心を提供する製品として、エルプエンテ インターナショナル（横浜市中区、藤原公生社長、045・662・4418）は、提供表示シール式救急箱「F－A（エフプラスエー）」を販売している。

付属のシールを車両や店舗に添付することで、大規模災害などの緊急時に救急箱を貸し出す意思表示とする。営業車両用、店舗向けに販売している。企業の社会的責任（CSR）活動として取り入れられ、横浜市中区）やビッグトウキョウ（東京都千代田区）を中心に、1000箱以上の販売実績を持つ。

2005年の構想から準備を経て、09年に発売した。藤原社長は「最初は救急箱を作ろうとは思っていなかった」そうだ。カウンセリング活動の経験から、人間関係が希薄になっている社会は本来、助け合うための道具が街に無かった」（藤原社長）。

「応急手当てに必要最低限なものを詰め込んだ」（同）と話すとおり、包帯、ばんそうこうから解説冊子まで12アイテム入り。キット内のハサミで箱を切ると、添え木として使えるといった配慮も。「09年はエコプロダムだが、10年は社会貢献できる製品が求められる」（同）と考え、需要拡大を期待している。現在は、ボランティアチーム「FAVT」が横浜市を中心に普及活動中で、今後は知名度向上がカギになりそうだ。価格は5197円で、シールに社名、団体名の印刷もできる。

エルプエンテ インターナショナルの救急箱「F－A（エフプラスエー）」

2010年1月7日　日刊工業新聞